

県外イベントで販促

熱海商議所 地元への誘客めざす

熱海商工会議所は優れた地元食品を認定する「熱海ブランド」を拡充する。新たな販促物を作るほか、東京や神奈川県など県外での販売を強化する。今秋には第2弾を認定するほか、来年度には食品に加えて工芸品などにも対象を広げること検討する。団体客を中心に観光客の減少が続くなか、特産品のブランド力を高めて誘客につなげる。

熱海ブランド認定食品



観光客らが土産品を買いに立ち寄るアンテナショップ(熱海市)

工芸品など追加検討

熱海ブランドは昨年から一般市民が味覚のほか「土ら始めた。熱海在住のソムリエ、田崎真也氏や「か」などを基準に68品目

熱海ブランドの商品例	
とろけるデ・シュー	・地元産牛乳で作った生クリームを使ったシュークリーム
伊豆乃踊子	・サブレ生地でクルミ入り白あんを包んだ焼きまんじゅう
ネコの舌	・バターの味をいかした素朴なクッキー
橙マーマレード	・日本一の生産量を誇る熱海のダイダイを使用
七尾たくあん(甘酢漬風)	・熱海名産の七尾たくあんを醸造酢とみりんで味付け

メガソーラー増設

ヨシコン 浜松など県内4市に

ヨシコンは大規模太陽光発電所(メガソーラー)を増設することを決めた。菊川市に出力2000

ト二次製品の工場敷地内や営業所などがある自社の用地に設置する計画だ。

静岡県内は日照量が多いこともあって、メガソーラー事業を検討する企業が多い。ヨシコンは他社にもメガソーラーの建設を働き掛ける提案営業を始めた。発電機器の販売や設置、建設後の管理などを請け負いたい考えだ。

小型の太陽熱温水器

00円。同社の試算では一万5000円分削減でき、自動車の部品や原動機などが増えた。輸入

65歳からの健康な期間

県内男性17年 女性20年

静岡県は65歳以降に自立、動などが自立期間を長くすして健康に生活できる期間「(長寿政策課)と見て「お達者度」を算出した。いる。今回の結果を今後の

県「お達者度」算出

市町別にみると、最長は男性が長泉町で女性は吉田町だった。県はお達者度が長い市町の特徴として、高齢になっても仕事があることや、三世帯同居が多いことなどを挙げている。

X線検査用カメラ薄く

イメージテック 画像精度も向上

X線検査装置開発のイメージテック(浜松市)が、厚みを従来より1ミリ薄く、3ミリとすることで、ラインに組み込みやすいという。アパレルや自動車部品、食品カメラの設計を変えて

台風4号被害 農作物14億円 県まとめ

静岡県は27日、6月に県内に上陸した台風4号の農作物等への被害状況をまとめた。被害総額は

電子回路などを載せる基板を小型にしたことで薄さを実現した。電子回路の設計も変更し、基板の振動によるノイズを減らし、画像の精度も向上させた。

を審査し、シュークリームやまんじゅう、漬物など28品目を認定した。認定されると熱海ブランドのロゴマークを使用できるほか、熱海商議所の販売支援を受けることができる。熱海商議所は今年2月から、JR熱海駅前に認定商品を販売するアンテナショップを開設。今夏からは東京の麻布十番まつりや、神奈川県内のスーパーの催事イベントなど対象に2回目の審査をする。9月には第2弾の認定商品を発表する予定。来年度は食品だけでなく、工芸品や海産・農産物などを認定することも検討するという。熱海市の昨年度の宿泊者数は10年前に比べて約2割減少している。熱海商議所は厳しい審査を経た認定した商品を拡充することで熱海の魅力をPRするとともに、食品産業などの活性化につなげる。検査装置メーカーにカメラ単体を販売するほか、新しいカメラを組み込んだ検査装置を販売する。X線検査はサンプル抽出による検査が主流だったが、近年は部品メーカーなどでも全量を検査する企業が増えているという。